

令和6年 第5回委員会会議録

1 開催年月日 令和6年3月5日(火)

2 開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前11時27分

3 場 所 福岡市選挙管理委員会

4 出席委員 稲員委員長、大石委員長職務代理者、江藤委員、石井委員

5 事務局職員 選挙課長、庶務係長、選挙係長

6 傍聴者 なし

7 議 題

(1) 議案

議案第2号 直接請求に必要な選挙人の数について

議案第3号 福岡市議会議員一般選挙における選挙運動に関する収支報告書の要旨について

(2) 報告事項

① 選挙人名簿登録者数について

② 在外選挙人名簿登録者数について

③ 令和6年度当初予算案について

(3) その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・令和6年3月21日(木) 午前10時30分

・令和6年4月5日(金) 午前10時30分

・令和6年4月22日(月) 午前10時30分

8 議事次第(○：出席委員、▲：事務局職員)

(1) 議案

議案第2号及び第3号について、事務局から説明を行い、審議の結果、出席委員の全会一致で可決された。

(2) 報告事項

報告事項について、事務局から資料の説明・報告を行った。

(3) その他

・次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。

【質疑等】

- 18歳・19歳を対象としたバースデーカードの予算はどこに含まれているのか。
- ▲ 県知事選挙費の臨時啓発費に含まれている。
- 予算化できたことは一歩前進である。実施後は振り返りが大事だと思うので、しっかり取り組んでもらいたい。
- 常時啓発の予算について、変化が見られないが、新規事業の予算要求は行っていないのか。
- ▲ これまでにも、バースデーカードの発行に関する予算要求を行ってきたが、経常経費の新規事業に関する予算は、要求が通らないことが殆どである。
- 投票率の低下が危惧される中、新規事業の必要性、効果について財政局に説明し、新たな取組みをさらに導入していくべきと考える。
- いずれにせよ、主権者教育の時間をさらに増やしていくべきである。選挙への関心は主権者教育の取組み具合に左右される。すべての学校で実施され、実際の政党の公約などを題材とし、自身の暮らしと選挙の関わりを説いていく必要がある。
- 他都市の事例で、こども議会などがメディアに取り上げられているように、各自治体も危機感を持って主権者教育に取り組んでいる。自治体が積極的に企画し、情報発信していくべきで、その必要性について財政局と協議を行うべきではないか。
- 現在実施されている出前授業での模擬選挙について、児童・生徒の学校生活に関係する、現実的なテーマでの投票とすることで、より関心を持ってくれるのではないか。